

お忙しくても、約 2 分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

精神的バックボーンを取り戻せ 月尾 嘉男 (東京大学名誉教授)

1. このまま進むと日本はどうなってしまうか心配になる。経済発展一途で経済大国になることには成功したが、政治の劣化、論理の消滅、文化の崩壊は増大した。隣国の中国や韓国からは日本攻撃の発言や行動が頻発しているが、国家として毅然として反撃する態度を示さないどころか、敵に塩を送る愚者までいる。
2. 日本は百年先を見据えた戦略の転換を迫られている。そのためにはまず明治維新以降の百数十年と、これから先の百数十年とはまったく別の社会だという認識を、政治家や官僚はもちろん、国民一人ひとりが持つ必要がある。従来常識は非常識に、成功体験は必ず失敗につながるというほどの覚悟を持ち、新しい社会を構築していくべきで、そのために、変えるべきはちゅうちょなく変える必要がある。中央集権から地方集権に、官公への過度の依存から民私主体に、いまこそ転換への舵を切るべきである。
3. また、現在の日本人の多くには国家観や歴史観がなく背骨がない状態だと言える。そこで日本人は新しい時代の精神的原点となる思想を見出す努力をしなければならぬ。台風や地震が襲来する過酷な自然環境の中で二千年以上生活してきた日本人は、その自然と共存しながら社会を維持してきた文化こそが自身の精神的基礎にあることを知るべきである。
(参考:「致知」2012年6月号)

人事・労務について

「プロセス」を正當に評価する

鈴木 豊 (キューピー相談役)

1. 大阪で支店長をしていた頃から、部下の評価では「プロセス」をきちんと見えるように心がけてきた。それは「結果がプロセスを規定してしまう」ということがよくあるからだ。いい結果を出せば「プロセス」は問わなかったり、どんなに努力しても結果が伴わなかったら「プロセス」も悪い評価にしたりするようでは、人は育たない。
2. 得意先が好調なおかげで業績を伸ばした人は、その結果だけで評価される「プロセス」への意識が甘くなってしまふ。一方、頑張り認められなかった人は、「こんなものか」となって、やはり「プロセス」に対する努力が緩慢になる。両方とも伸びなくなる。「プロセス」価値を根づかせるのに大事なことは、上司や先輩が部下を見つめて、見守ることです。プロセスは毎日の積み重ねですから、日頃からコミュニケーションを深める必要がある。
(参考:「日経ビジネス」2012年3月5日号)

ワンポイント経営アドバイス

コスト構造を変える

1. 利益率アップは旧来のやり方にこだわっては決して実現できない。営業、管理、製造それぞれの立場からこれまで「常識」としてきたことを大胆に疑い、柔軟な発想でコスト構造を変えていかなければならない。この役割を務められるのは、経営者だけだ。社内に反発があったとしても、進むべき方向がはっきりしている以上、遠慮する必要はない。「何があっても会社を守る」というトップの責務として、コストを見直そう。
2. 利益率アップを実現する主な項目は次の通りである。(1)「聖域」を設けず、根本的に見直していく。(2)社員一人ひとりの働き方をチェックし、課題を「見える化」。(3)進捗状況を数字に落とし込んで把握する。(4)現場に積極的に足を運び、うまくいっているかを確認する。(5)コストダウンの意義を繰り返し語り、社員の意識を変える。
(参考:「日経トップリーダー」2012年5月号)

古典に学ぶ

人の本質を見抜くには、視て、観て、察する

「視、観、察の三つを以て、人を識別せねばならぬ」

(解説) 人を見るには、眼で「視」て、頭で「観得」して、心で「察」しなければならない。人を視て、観て、察すれば、その人の外面も内面も、手に取るようにわかるのです。

(参考: 渋澤健「渋沢栄一」100の訓言): 日経ビジネス人文庫